

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年2月1日（月）～平成28年2月7日（日）〔第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は48.78人と前週（32.72人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.55人と前週（9.00人）からほぼ横ばいで、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.67人と前週（3.45人）からやや増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

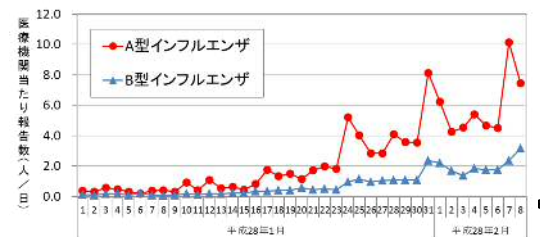


患者数はさらに増加！ーインフルエンザー

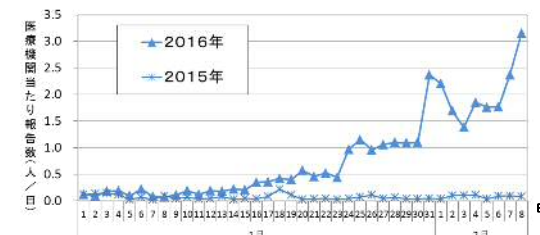
今シーズンのインフルエンザは、第5週（平成28年2月1日～2月7日）の定点当たり患者報告数が48.78人となり、例年のピークより高い報告数となりました。本市のリアルタイムサーベイランスでは、A型インフルエンザ、B型インフルエンザともに増加傾向ですが、特にB型インフルエンザは昨年の同時期に比べ大幅に増加しています。

未だ流行のピークに至っていない可能性もありますので、しばらくはインフルエンザに対する警戒が必要です。

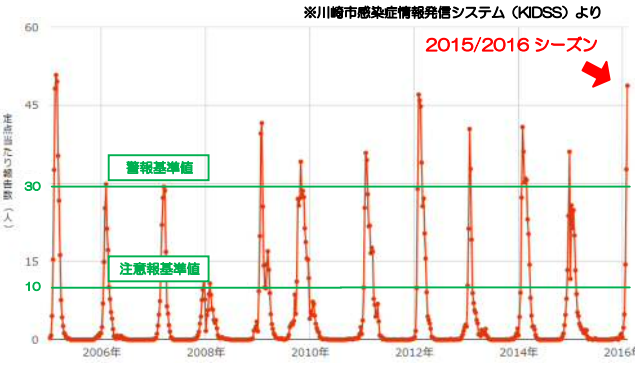
川崎市感染症情報発信システム（KIDSS）
リアルタイムサーベイランス推移グラフ
【A型・B型インフルエンザ患者数（2016年）】



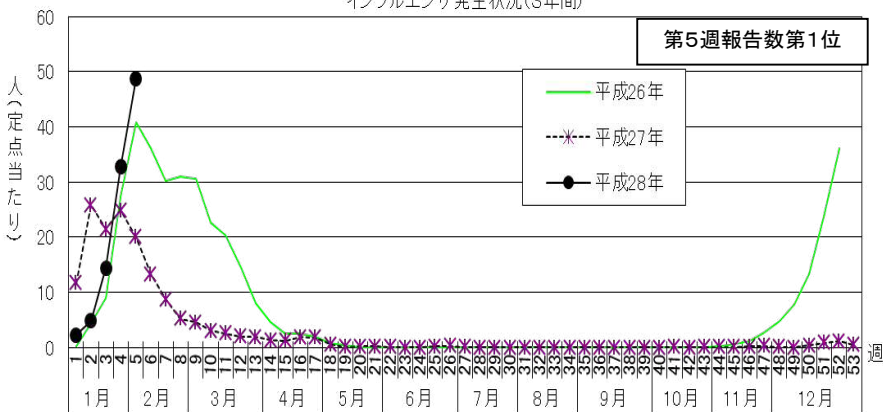
【B型インフルエンザ患者数（2015年との比較）】



川崎市のインフルエンザ発生状況（2005年～2016年）
※川崎市感染症情報発信システム（KIDSS）より



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)

